

## 夢は無敵大!

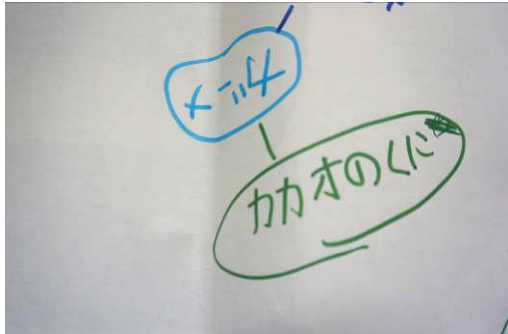
|      |  |   |  |
|------|--|---|--|
| 所属   | 佐屋小学校  | 実践者   | 加藤未来   |
| 対象   | 小学6年生 33名  | 時間数   | 12時間   |
| 場所   | 教室・コンピュータ室   | 実践教科  | 総合・道徳・図工   |
| ねらい  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外と自国を比べ、多様性の中にも同一性があることを認識する。</li> <li>・夢の選択肢を広げ、夢の実現法を考える。</li> </ul>  |   |  |
| 実践内容 | 回  | プログラム   | 備考   |
|      | 1<br>2   | <p>◆<b>ガーナを知る</b><br/>           ガーナのイメージ・ガーナの知っていること<br/>           ①予想～ガーナの子の絵<br/>           ・ガーナの子どもの服装を予想して、グループで絵に描く。<br/>           ②写真を見て、ガーナと日本の違いと同一性の発見<br/>           ・街や食べ物の写真から、ガーナと日本と同じところと違うところをグループで発見する。<br/>           ・感想を述べる。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・派生図</li> <li>・イメージ図</li> <li>・対比表</li> </ul>   |
|      | 3<br>4   | <p>◆<b>ガーナの子と自分の将来の夢を知る</b><br/>           ①予想～ガーナの子の将来の夢<br/>           ・「もっている・もっていない・もちたいけど、もっていない」の3つから予想する。<br/>           ・ガーナの子の将来の夢の内容を全体で発表する<br/>           ②自分の将来の夢<br/>           ・「もっている・もっていない・もちたいけど、もっていない」の3つから、自分はどうなのか、理由と共に発表する。<br/>           ③夢をもつといいことを考える<br/>           ・夢をもついいことをグループで考える。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっている<br/>→理由 どうして夢をもつことができたのか、夢の内容</li> <li>・もっていない<br/>→理由 なぜもっていないのか</li> <li>・もちたいけど、もてない<br/>→理由 なぜもちたいのに、もっていないのか</li> </ul> |
|      | 5<br>6   | <p>◆<b>夢の選択肢を広げる</b><br/>           ①メモリーツリー…自分の夢、好きなことを紙に書きだす。<br/>           ②夢探し…インターネットで検索し、さらに紙に書きだす。<br/>           ③十二年後のわたし(図工)…夢を叶えた自分を想像して、紙粘土で表現する。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・夢の選択肢を広げる<br/>夢をもっている人は、夢は1つだけでなく、もっと広げてもよいことを伝え、夢をもっていない人は、好きなことから広げさせる。</li> </ul>   |
|      | 7<br>-10<br>11<br>12   | <p>◆<b>夢の実現法を考える</b><br/>           ①夢の実現法探し<br/>           インターネットで、自分の夢の実現法を具体的に調べる。<br/>           ②夢の実現法を考える<br/>           付箋に自分の意見を書いた後、グループで発表する。<br/>           ③実現させるには、今でしょ!<br/>           ②の付箋を今できること、将来することに分ける。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元軸</li> <li>・青年海外協力隊の方の話の動画</li> </ul>   |
| 成果   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が真剣に、そして楽しく取り組むことができ、夢の選択肢を広げることができた。</li> <li>・夢をもっていない児童と夢をもっている児童の中でも、夢の実現性に不安を感じていたため、夢の実現について考える時間を設けたことによって、不安を軽減させることができた。</li> </ul>                                       |   |  |
| 課題   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年によって、子どもによって、時代によって、夢の有無や実現の不安については、変わる可能性がある。自分の児童の思いを聞きながら、プログラムや教師の話を考え、ときには変更も必要である。</li> <li>・6年生は、時間の確保の難しさとやるべきことが多くて、計画的に行うことができなかった。自分が先を見通して、意識をもたなければならなかった。</li> </ul> |   |  |
| 備考   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・5、6、10回目は、コンピュータ室で行った。</li> </ul>  |   |  |

## [ 授業実践の詳細 ]

### 1 時限目「ガーナに出会う前」

#### 1 子どもの活動の流れ

- ① ガーナについて知っていることをグループで書きだす。  
(派生図)
- ② ガーナのイメージを書きだす。(派生図)
- ③ 他のグループの意見を知る。(ギャラリー)
- ④ ガーナの知りたいことを書きだす。  
(派生図)
- ⑤ 他のグループの意見を知る。  
(ギャラリー)



#### この時限のねらい

- ・ガーナについての認識度を知る
- ・ガーナに興味をもつ

#### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ ガーナについて知っていることは少なく、全部のグループのペンが止まっていた。しかし、諦めることなく、考え続けていた。
- ◇ ガーナのイメージは、貧乏や当たり前のものがない、大変そうというマイナスな印象であった。イメージや知りたいこととなると、たくさんの意見が出て、興味をもっている様子であった。

### 2 時限目「ガーナと日本の発見したこと」

#### 1 子どもの活動の流れ

- ① ガーナの子どもの服装を予想して、グループで絵を描く。  
(イメージ図)
- ② 街や食べ物の写真から、ガーナと日本の同じところと違うところをグループで考える。(対比表)
- ③ 他のグループの意見を知る。(ギャラリー)
- ④ 感想を述べる。

#### この時限のねらい

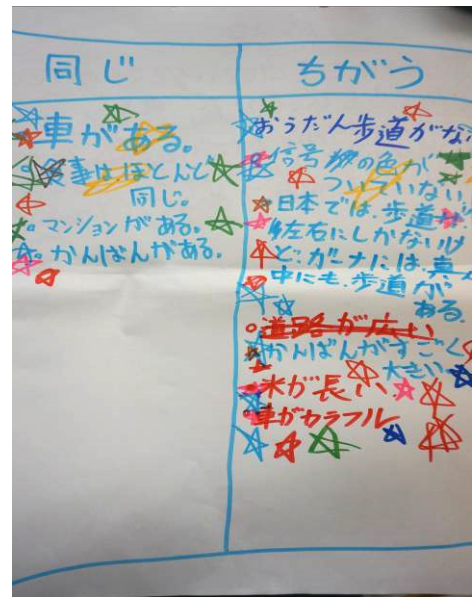
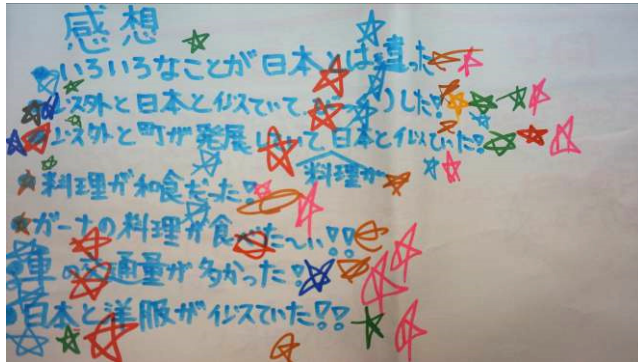
- ・発展途上国のイメージを見直す
- ・ガーナと日本の違いと同一性を知る

#### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ ガーナの子どもの服装を予想したときは、貧乏な様子を表す服装や民族を想像する服装を描いていた。

実際に、ガーナの子どもの服装を写真で見たときは、「えー！」「一緒じゃん」などの声が自然と発せられた。自分のイメージとの違いに対する驚きの声が多かった。

- ◇ 写真を見た瞬間、ガーナと同じところがあることの驚きがあった。日本にとって、当たり前のものがガーナにあることをよく発見していた。ただ、ガーナとの違いの方がより多く発見でき、外国の様式や生活に触れることができ、楽しそうであった。感想では、「日本とガーナの違うところや同じところがあってビックリした」とあり、違うところも同じところも驚きがあり、衝撃を与えることができた。



### 3 使用した教材

- <教材1> ガーナの子の写真
- <教材2> ガーナの街の写真(道路)
- <教材3> ガーナの街の写真(道路)
- <教材4> ガーナの食べ物の写真

## 3 時限目「ガーナの将来の夢」

### 1 子どもの活動の流れ

- ① ガーナの子は、将来の夢を「もっている・もっていない・もちたいけど、もっていない」の3つから予想し、挙手をする。
- ② ガーナの子の将来の夢の内容を予想し、発表する。
  - ・もっている→理由 どうして夢をもつことができたのか、夢の内容
  - ・もっていない→理由 なぜもっていないのか
  - ・もちたいけど、もてない→理由 なぜもちたいのに、もっていないのか
- ③ ガーナのイメージを整理する。

#### この時限のねらい

- ・ガーナの子の将来の夢を知る
- ・自分と周りの子の将来の夢を知る

### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ ガーナの子は、将来の夢を「もっているが8人」「もちたいけど、もっていない21人」「もっていない3人」と挙手をしていた。「もちたいけど、もっていない」と考える子が一番多かった。理由は、貧乏だから、学校に行けない。学校に行けないから、勉強についていけなくて、仕事につけないと話していた。児童から、貧困の負の連鎖が理由となることを聞くことができた。また、「もっている」と考える子の理由も、「貧乏だから、お金持ちになる夢がある」「何でもいから仕事につき、楽しませたい」など、貧乏から想定することを述べていた。子ども達は、ガーナが貧乏であるという認識があり、先進国以外の国は貧乏であるという先入観をもっていることが分かった。
- ◇ ガーナのイメージを整理すると、「学校へ行けていない」「貧乏」「勉強がきつい」であった。ただ将来の夢を根拠なしに考えるのではなく、ガーナのイメージを根拠に、子ども達は将来の夢を考えたようだ。

## 4 時限目「自分の将来の夢」

### 1 子どもの活動の流れ

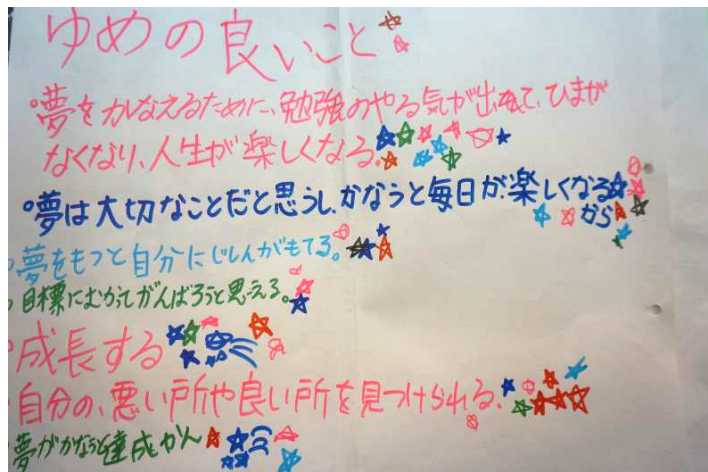
- ① 自分の将来の夢は、「もっている・もっていない・もちたいけど、もっていない」の3つから、自分はどうなのか、理由と共に発表する。
  - ・もっている→理由 どうして夢をもつことができたのか、夢の内容
  - ・もっていない→理由 なぜもっていないのか
  - ・もちたいけど、もてない→理由 なぜもちたいのに、もっていないのか
- ② 夢をもつといいことをグループで考える。(ブレインストーミング)
- ③ 他のグループの意見を知る。(ギャラリー)

#### この時限のねらい

- ・自分の将来の夢を考え、夢の大切さに気づく

### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 自分の将来の夢は、「もっているが28人」「もちたいけど、もっていないが3人」「もっていないが2人」であり、自分が予想していた以上に、夢をもっている人がたくさんいた。夢を話す人は、とても楽しそうであり、聞いている人も興味深そうであった。「もちたいけど、もっていない人」は、「なりたい職業がない」「良いものがあるけど、これって思うものがない」という理由であった。「夢をもたなくてもいい人」は、「夢が叶うか分からない。今、夢を考えて、なれなかつたら・・・」と答えていた。その理由に対し、「もっている人」も共感する人が多かった。そのため、「もっている人」の中で、夢が実現できるか不安である人は挙手をしたとき、28人中20人が挙手をした。夢をもっているが、実現できるか不安であるのが現在のクラスの状態である。
- ◇ 夢をもつといいことは、たくさんの意見が出て、夢の意義や希望をもっていた。



## 5-6 時限目「夢探し」

### 1 子どもの活動の流れ

- ① 自分の夢や好きなことを紙に書き出す。(メモリーツリー)  
夢をもっている人は、夢は1つだけでもなくて、もっと広げてもよいことを伝え、夢をもっていない人は、好きなことから広げさせる。
- ② インターネットで、さらに自分の夢や好きなことを紙に書き足す。
- ③ 感想を書く。

#### この時限のねらい

- ・夢の選択肢を広げる



## 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 書きだしたら止まらず、好きなことや夢を多様に書きだしていた。十分に夢が広がっている児童が多かった。今まで、メモリーツリーと似た派生図に取り組んできたことと好きなことが多様にあるため、躊躇することなく、書きだしていた。十分に広がっていない児童は、「夢をもっていない2人」であり、声かけをした。この2人の児童が夢をもてるように、夢探しが重要となってくると感じた。「夢をもちたいけど、もっていない3人」は、十分に広がっていた。
- ◇ インターネットで検索した後は、専門的に知ることができ、書き足す児童が多かった。書き足したことがはっきりと分かるように、ペンをわけたため、調べたことによって、夢が増えたことを実感させることができた。感想では、「夢をもっている人」は、夢が広がったり、夢が変わったりして、この夢探しは子どもにとって影響が大きかったことが分かった。「夢をもっていない人」は、声かけがなくても、夢が広がっていた。



## 7-10 時限目「十二年後のわたし」

### 1 子どもの活動の流れ

- ① 将来の自分を想像し、現在の一番の夢を選ぶ
- ② 紙粘土で将来の自分を想像して、作る
- ③ 鑑賞をする

#### この時限のねらい

- ・現在の一番の夢を選び、将来の自分の想像する

### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 「夢をもっていない2人」は、迷うことなく、時間がかかることなく、取り組むことができた。夢探しをした結果、まだ本当の夢とまではいかないが、今の自分の夢はこれだろうと決めることができた。



## 11-12 時限目「夢を実現させるには今でしょ！」

### 1 子どもの活動の流れ

- ① 夢の実現法を自分で考える
- ② インターネットで探す
- ③ 青年海外協力隊の方の話の動画を見る
- ④ 夢の実現法を自分で考える
- ⑤ 夢の実現法をグループで発表する
- ⑥ 他のグループの意見を知る(ギャラリー)
- ⑦ 今できること、将来することに分ける
- ⑧ 感想を書く

#### この時限のねらい

- ・夢の実現法を考え、自分が今できることを知る

### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 夢の実現法を最初自分で考えたときは、書けない児童が多かった。そのため、インターネットで探したり、青年海外協力隊の方の話の動画を見たりして、夢の実現法を考えられるようにした。そうすると、このことをヒントにして、書きだすことができるようになった。今、未来に分けたときは、今できることがどのグループも多くなり、「今やるべきことがわかった」「今から頑張ろうと思う」という感想だった。また、感想には、夢の実現法に影響を受けている感想が多く、授業をした成果がとてもあった。



### 3 使用した教材

<教材5> 青年海外協力隊の方の話の動画

## ■ 全体を通して

### 1 授業の様子



<話し合いの様子>



<インターネット検索の様子>